

かゆい水虫・たむしに

タマリングランデス液 第2類医薬品 (水虫・たむし用薬)

水虫・たむしは、白癬菌というカビ(真菌)が皮膚表面の角質層等に寄生して起こる疾患です。 白癬菌が皮膚表面の角質層等のケラチン質を侵すことにより、皮膚表面に炎症を起こし、激しい かゆみが生じます。

- ◆ダマリングランデ×液には5種類の有効成分を配合。1日1回の使用により、かゆみや痛みを 伴う水虫・たむしを改善します。
- ▶浸透しやすい液剤で、カサカサした患部におすすめします。



使用上の注意

🗭 してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が 起こりやすくなります)

- 1 次の人は使用しないでください 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- 2 次の部位には使用しないでください。
 - (1)目や目の周囲、粘膜(例えば、口腔、鼻腔、膣等)、陰のう、外陰部等。
 - (2)湿疹。



相談すること

- ①次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に 相談してください
 - (1)医師の治療を受けている人。
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 乳幼児。
 - (4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (5) 患部が顔面又は広範囲の人。
 - (6)患部が化膿している人。
 - (7) 「湿疹」か「水虫、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人。 (陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い)
- 2 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに 使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して ください

関係部位	症 状		
皮膚	かぶれ、刺激感、熱感、鱗屑・落屑(フケ、アカのような皮膚のはがれ)、 ただれ、乾燥・つっぱり感、皮膚の亀裂、痛み、色素沈着、発疹・発赤*、 かゆみ*、はれ*、じんましん*		

*:全身に発現することもあります。

3 2週間位使用しても症状がよくならない場合や、本剤の使用により症状が 悪化した場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者 に相談してください

能 効

水虫、いんきんたむし、ぜにたむし



用法·用量

1日1回、適量を患部に塗布してください。

[注意]

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)患部やその周囲が汚れたまま使用しないでください。
- (3)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で 洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。
- (4) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (5)外用にのみ使用してください。
- (6)本剤のついた手で、目や粘膜にふれないでください。

〈容器の使用方法〉



- 使用前に、容器の先端を上に向けて、手の指で押して中の空 気を抜いてください。(暑い時期、温度の高い場所に置かれ た場合や薬液が少なくなった場合などに、内圧が高まり、薬 液が多くでることがありますので、これを防ぐためです)
- 患部に使用する時は容器を下向き又は斜めにして、患部に 先端を軽く押し当てて塗布してください。(先端を患部から はなすと、薬液がでなくなります)

分 成

PA 23				
100g中				
成分	分 量	はたらき		
テルビナフィン塩酸塩	1.0g	白癬菌を殺菌します。		
イソプロピルメチルフェノール	0.3g	患部を殺菌・消毒します。		
リドカイン	2.0g	患部のかゆみ・痛みを一時的にしずめます。		
グリチルレチン酸	0.5g	患部の炎症を改善します。		
<i>l-</i> メントール	2.0g	清涼感を与え、患部の炎症をやわらげます。		

添加物:pH調節剤、1,3-ブチレングリコール、エタノール

管及び取扱い上の注意

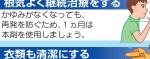
- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることが あります)
- (4)火気に近づけないでください。
- (5)本剤は床、家具等の塗装面に付きますと変質させることがあります ので、付着しないよう取扱いに注意してください。
- (6)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内で あっても、開封後はなるべくはやく使用してください。(品質保持のため)



水虫治療のポイント

白癬菌の寄生は、症状のあらわれている範囲より広がっていることが多いので、 薬剤は広めに塗布しましょう。又、次のことに留意してください。

根気よく継続治療をする



靴や靴下、スリッパ、浴室の マットも清潔に保ち感染に 注意しましょう。

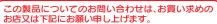


患部を乾燥させる

通気性の悪い靴下やゴム長靴は 好ましくありません。むれを防ぎ、 乾燥に心がけましょう。

白癬菌増殖の抑制や-





連 絡 先 大正製薬株式会社 お客様119番室 話 03-3985-1800

受付時間 8:30~21:00(土、日、祝日を除く)



副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html 電話:0120-149-931(フリーダイヤル)